

社会工学類卒業研究梗概テンプレートの開発

LaTeX を用いた執筆をより簡便にするソリューション

社会経済システム専攻 20xxxxxxx 筑波 社子

指導教員：蝶式 強威 教授

社会工学類卒業研究梗概テンプレート

制作：多賀重敬（社会経済システム専攻・第 42 期卒見込）

v1.0.0 — 2021/12/11

1 このテンプレートについて — About

「xxxxxxxxabstract.tex」は、filecontents 環境に記述された jlreq ベースの文書クラス「cppssynopsis.cls」と、\documentclass[] {cppssynopsis} 以下の「本体部分」から構成されており、筑波大学社会工学類卒業研究梗概集原稿の書式を満たす文書様式を提供します（令和 3 年度準拠）。

- 必須項目
 - 用紙サイズ：A4 / ページ番号：禁止
 - 題目：18pt、ゴシック体 / 副題（任意）、学籍番号、氏名、専攻名、指導教員名：9pt、ゴシック体
- 目安・変更可能項目
 - 上下余白：20mm / 左右余白：16mm
 - 節・図表見出し：9pt、ゴシック体 / 本文：9pt、明朝体

クラスファイル自体を内蔵しているため、ファイル名の「xxxxxxxx」を自分の学籍番号に変えればこのまま原稿ソースファイルとして提出できます（画像など外部ファイルを読み込む場合は別途添付の必要があります）。

なお、このテンプレートは非公式に制作・配布されるものであり、使用により発生した問題等について制作者は一切の責任を負いかねます。MIT ライセンスを採用していますので、後述の URL から参照の上、予めご了承ください。

2 動作要件 — Requirements

動作するエンジン（処理系）は jlreq クラス同様に pLaTeX / upLaTeX / LuaLaTeX の 3 つです。jlreq クラスと kvoptions パッケージに明示的に依存します。動作は公開時点における最新の TeX Live 環境で確認していますが、正常な動作を保証するものではありません。

3 使用方法 — Usage

通常通り、本体部分の\documentclass[] {cppssynopsis} から\begin{document}の間はプレアンブルとしてパッケー

ジの読み込みやマクロの定義が可能です。また、\maketitle から\end{document}の間も、通常の本文と同じように記述できます。

3.1 \documentclass とクラスオプション

本体部分の最初にある\documentclass[<オプション>] {cppssynopsis}の<オプション>は jlreq クラスのオプションを受け取ります。

3.1.1 内部で強制的に指定する jlreq クラスオプション

paper=a4 / article / onside / twocolumn /

3.1.2 ユーザーが指定可能な jlreq クラスオプション

platex / uplatex / lualatex / draft / final /
fleqn / leqno / disablejfam / hanging_punctuation /
use_reverse_pagination / open_bracket_pos /
baselineskip / linegap / headfoot_sidemargin /
sidenote_length / jlreq_notes / fontsize /
jafontsize / jafontscale / line_length /
number_of_lines / gutter / fore-edge / head_space /
foot_space

3.1.3 入力しても無視される jlreq クラスオプション

report / book / twoside / onecolumn / titlepage /
notitlepage / openright / openany / tate / landscape
それぞれの機能については jlreq クラスの説明文書を参照してください。

3.2 題目などの入力

入力項目は以下の 6 つで\subtitleを除き全て必須、改段落（空行や\par）および強制改行\\は禁止です。全てプレアンブルに記述してください（\maketitle以降は無効化）。

- \title{<題目>}：論文題目を記入します。
- \subtitle{<副題>}：副題がある場合はここに記入します。
- \major{<専攻名>}：専攻名を記入します。「専攻」まで記入してください。
- \studentID{<学籍番号>}：学籍番号を記入します。
- \author{<著者氏名>}：著者の氏名を記入します。姓名間には全角 1 文字分の空白を入れてください。
- \advisor{<指導教員名・職名>}：指導教員名を記入します。姓名・職名間には全角 1 文字分の空白を入れてください。

これらの入力内容は`\begin{document}`直後の`\maketitle`で指定された体裁に合わせて出力されます。もし、1 ページ目のだけ上側の余白を変更したい場合は、`\maketitle`の前に`\vspace*{<長さ>}`を入れると良いでしょう。

3.3 通常のjlreqとの相違点

ヘッダやフッタを操作してページ番号の表示などを行う`\pagestyle / \thispagestyle`は無効化してあります。

また、節・小節・小々節は全て`\normalsize`（本文フォントサイズ）で表示されるように設定を変更しているほか、フォントサイズの代わりに字下げにより区別できるようにしています。また、`\subsubsection` 直前の空行は除いてあります。これを変更するにはjlreqクラスの`\ModyfiHeading` コマンドを使用してください。パラグラフ・サブパラグラフ・図表見出しは元から`\normalsize` で表示されるため手を加えていません。

3.4 最終ページについて

このページのように最終ページの各段の行数を揃えるには`\usepackage[balance]{nidanfloat}`が有効です。

その他の設定や詳細についてはjlreqの説明文書をご覧ください。Lua^AT_EX をお使いの方はLuaT_EX-ja パッケージの説明文書もご覧ください。

3.5 使用例

以下はこの説明文書の本体部分冒頭を再現する場合のコードです。

```
\documentclass[]{cppssynopsis}

\academicyear{令和3}
\title{社会工学類卒業研究梗概テンプレートの開発}
\subtitle{\LaTeX_を用いた執筆をより簡便にするソリューション}
\major{社会経済システム専攻}
\studentID{20xxxxxxx}
\author{筑波\quad_社子}
\advisor{蝶式\quad_強威\quad_教授}

\begin{document}
\maketitle
\tableofcontents
\end{document}
```

4 ライセンス — License

この文書クラスは MIT ライセンスの下で配布します。ライセンスの全文は以下の URL から参照してください。

<https://github.com/tagacchy/cppstheiss/blob/main/LICENSE>

5 更新履歴 — History

- 2021/12/11 (v.2.1.1) : 初版 (令和3年度準拠)